

創立 60 周年祝賀会 開会のご挨拶

本日、一般財団法人広島県環境保健協会創立 60 周年記念式典を盛大に執り行うことが出来たことは、本会にとりまして誠に光栄なことと存じます。引き続き祝賀会にも多数ご臨席賜りました皆様にも厚く御礼申し上げます。

先程、創立 60 周年記念祝賀会のオープニングで、本会の 60 年の歴史を振り返りました。昭和 32 年に住民組織である県内市町村公衆衛生推進協議会が集い、広島県地区衛生組織連合会として設立され、60 年にわたり本会が存続し、活動を継続できましたのは、ひとえに県民と地域の皆さま、本会を支えて頂いた多くの関係者の皆さまのご指導・ご支援の賜物と深く感謝いたします。

そして、当会の創設期に 19 年にわたり会長を務めていただいた澤崎嘉衛様のご息と、県衛連の事務局長とそして理事長と長年にわたり協会発展に尽くしていただいた青木秀信様のご息女にもご出席いただきました。お二人に感謝状を贈呈したいと思っております。

人間で言えば還暦である 60 年を迎えるに当たり、「おかげさまで 60 年、住みよい未来をこれからも」というキャッチコピーを掲げ、県民、地域、共に歩んだ公衛協の皆さまや関係者の皆さまに感謝を表すと共に、本会の活動や事業を幅広く発信し、今後のビジョンを含め皆様と共有できるように、様々な記念事業に取り組みました。

60 周年記念事業の社会貢献事業では、住民が干潟と触れ合う機会を提供すると共に、漁業者と協働し、開発した干潟への施肥技術の利用と流域等での間伐材の利用や植林による里山整備や間伐材の利用によってアサリが育つ豊かな干潟を目標として、平成 29 年 6 月から平成 30 年 5 月までに、里海教室・里山教室として計 7 回の体験学習を実施する「里海・里山づくりプロジェクト」や広島県の誇るべき自然遺産であるミヤジマトンボの保全活動に貢献するため、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会と本会の環境保全課の指導のもと、当会の職員がミヤジマトンボ生息地における漂着ゴミを清掃し、軽トラック 2 台分のゴミを回収した「ミヤジマトンボ生息地清掃プロジェクト」を実施しました。また、本会と共に歩んできた公衛協へ感謝を表すことや当会の職員が地域公衛協の活動を知ること、当会の職員が公衛協の行事に参加することで、当会で働く職員を知ってもらうことを目的に 12 公衛協が実施する行事へ延べ 127 名の職員が参加させて頂きました。ご協力頂きました公衛協の皆さまに改めて感謝いたします。これらの活動の様子は、後ほどスライドショーで紹介いたします。

そして、国内の活動に限定せず、海外への支援も視野に入れ、ミャンマーの行政機関であるヤンゴン市開発委員会の水質検査員を対象に、水質検査の分析技術向上を支援する目的の技術研修を来年 1 月に実施する予定としています。

また、従来から継続している社会貢献事業として、「ごみゼロ・クリーンウォーク」や「平

和公園清掃」、「天満川自然観察会」、「天満川クリーン作戦」も実施しました。これまでの実績が評価され、広島市の平成29年度広島市環境美化功労者表彰、団体の部、環境美化永年活動10年表彰で表彰されることとなりました。

こうしたことは、当協会の諸先輩や職員の頑張りによるものであり、身内ではありませんが感謝するとともに、35年の長きにわたって勤務されてきた職員に感謝の意を示したいと思えます。

本会が半世紀以上にわたり培ってきた、健康と環境に係わる技術を基盤に、これからも「みんなの生命（いのち）をまもりたい。」という基本理念のもと、健康分野の事業、環境分野の事業、健康長寿分野の事業等に邁進し、地域社会における公衆衛生、環境保全の向上、県民の健康づくりの活動を支援し、広く海外に向けた活動も視野に入れ、本会だけでなく、地域、県民、関係団体みなさまと共に発展できる環保協でありたいと強く願っております。

本日はご多用の中、創立60周年記念祝賀会にご参集いただき、誠にありがとうございます。